



21.9.11 核心

器準備 創 37:1-11

序 - 絶対 - 神様の時刻表	本 - 絶対 - 24, 25, 00			結
1. 24 (2022)	1. 霊的器 1) RT 7 (創 41:38)	2. 隠れた器 (福音化運動)	3. 実際の器 1) 11:19 機会	1. 永遠に残ること (たましい)
2. 25 (2023)	2) RT 親	1) 創 45:1-5	2) 16:6-10 時刻表	2. 時刻表の中に
3. 永遠 (2024)	3) RT 指導者	4) Iサム 16:13	16:19-40 証人	3. その場所、その働き
1) 霊的		5) II列 2:9-11	4) 19:21 23:11 27:24	
2) 未来		6) ダニ 1:8-9		
3) 永遠のこと		7) ビリ 3:1-21		

創 37:1-11

- 01 ヤコブは、父が一時滞在していた地、カナンのに住んでいた。
- 02 これはヤコブの歴史である。ヨセフは十七歳のとき、彼の兄たちと羊の群れを飼っていた。彼はまだ手伝いで、父の妻ビルハの子らやジルパの子らといっしょにいた。ヨセフは彼らの悪いうわさを父に告げた。
- 03 イスラエルは、彼の息子たちのだれよりもヨセフを愛していた。それはヨセフが彼の年寄り子であったからである。それで彼はヨセフに、そでつきの長服を作ってやっていた。
- 04 彼の兄たちは、父が兄弟たちのだれよりも彼を愛しているのを見て、彼を憎み、彼と穏やかに話すことができなかった。
- 05 あるとき、ヨセフは夢を見て、それを兄たちに告げた。すると彼らは、ますます彼を憎むようになった。
- 06 ヨセフは彼らに言った。「どうか私の見たこの夢を聞いてください。
- 07 見ると、私たちは畑で束をたばねていました。すると突然、私の束が立ち上がり、しかもまっすぐに立っているのです。見ると、あなたがたの束が回りに来て、私の束におじぎをしました。」
- 08 兄たちは彼に言った。「おまえは私たちが治める王になろうとするのか。私たちが支配しようとも言うのか。」こうして彼らは、夢のことや、ことばのことで、彼をますます憎むようになった。
- 09 ヨセフはまた、ほかの夢を見て、それを兄たちに話した。彼は、「また、私は夢を見ましたよ。見ると、太陽と月と十一の星が私を伏し拝んでいるのです」と言った。
- 10 ヨセフが父や兄たちに話したとき、父は彼をしかって言った。「おまえの見た夢は、いったい何なのだ。私や、おまえの母上、兄さんたちが、おまえのところに進み出て、地に伏しておまえを拝むとも言うのか。」
- 11 兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。

要約

3 団体は静かに世界を掌握した。私たちは器準備(創 37:1-11)をしなければならない。

普通、私は報告をたくさん受けて働き人にたくさん会うようになるのに、うまくいかない人々の共通点がある。あらゆる事を、とても多くのことをみな自分の枠に入れて来る。また、ほとんどの人々が正しくするとって、とても限界を置いてしまうが、それでもない。

□序論_絶対-神様の時刻表

今、神様が何を願われるのか。それを絶対と言う。この質問を常に、瞬間、一生、いつもすべきだ。今日、三講義を要約したのが「絶対」だ。

1. すると 24 が見える。(2022 年主題)
2. 24 祝福味わえば 25 答えが来るようになっている。(2023 年主題)
3. 絶対という奥義を味わうことが永遠だ。(2024 年主題)
 - 1) 霊的なことのために肉的なことを投資するのだ。
 - 2) 未来のために今日を投資するのだ。
 - 3) 永遠のことのために臨時のことを投資するのだ。

神様の時刻表の中にすべて入っているので、いつでも「私が必ずすべきことは何か」を見るべきだ。

□本論_神様の絶対的な 24、25、永遠ということを見てすべての準備をすること

神学生は未来指導者だから、神様の絶対計画を握って、霊的器、隠れた器、実際器を準備しなさい。それでこそ 3 団体を生かせる。

1. 霊的器を準備しなさい。
 - 1) RT 7 人が霊的器を先に準備した
(創 41:38 未信者が見たヨセフの器)
 - 2) RT の親-ダビデを戦場にお手伝いに送るとき、しるしを持ってきなさいと言ったこと
 - 3) RT 指導者-サムエルがダビデに伝達したことを伝達するのが神様の絶対計画
2. 隠れた器として福音化運動に用いられるようになる。私ということはいらない。
 - 1) 創 45:1-5 神様がいのちを救おうと私を先に送られた。自分ということが全くなかった。
 - 2) 出 4:24 神様はモーセが必要だと言われ、あなたがいなくてもかまわないと言われた。
 - 3) I サム 3:19 神様のみことばに捕われた人。私の主張もいらない。
 - 4) I サム 16:13 主の霊が激しく下ったのだ。
 - 5) II 列 2:9-11 「あなたの」霊の 2 つの分け前が私のものとなりますように。肉的なことは一つも要求しなかった。RTS 生が世界を征服する方法
 - 6) ダニ 1:8-9 神様が私をここに送られた絶対のみこころが何か見つけ出した
 - 7) ピリ 3:1-21 自慢できるようなことは、キリストを悟れなかったので、恥ずかしいこと、キリストの手に捕えられているそれを捕らえに行く、上から召された報い、天国国籍、万物を服従させるイエス・キリストの御名
3. 実際の器を準備しなさい。
 - 1) 使 11:19 患難のときに教会ができた。初めて宣教が開かれるスタートポイント
患難、困難、危機はみなさんの時刻表、最も良い機会

2)使 16:6-10 門が閉じられた時がより良い時刻表、使 16:19-40 監獄に行ったことは証人の機会

3)使 19:21 23:11 27:24 この話がわかった人は、みんな答えを受けた。

□結論_この福音運動を正しくしてしまえば 24、25 を越えて

1. 永遠に残ることになる。人を生かしたことは永遠に残る。(救われたたましいが冠)
2. つまらないことをしても、神様が絶対的に願われる時刻表の中にいるならば、永遠のこと
3. 神様が絶対に願われる、永遠のことの中にいるその場所、その働きだ。

△卒業する前に契約をしっかりと握って編集、設計、デザインしなければならない。

<全文打ち出し翻訳版>

結論は明日 1 部礼拝で言います。それ以前に、今日の三講が出ました。24、25 二つを話しました。3 団体は静かに世界を掌握しました。みなさんは何をしなければならないのでしょうか。

必ず記憶しなければなりません。Remnant が器の準備されたようになるべきです。

普通、私は報告をたくさん受けて、働き人にたくさん会うようになります。話はしないのですが、普通、もう準備してくる人を見れば、うまくいかない人々の共通点があります。あらゆる事をみな自分の枠に入れて来ます。その文書が 100 パーセント答えられるならば、他のところはみな門を閉めなくてはなりません。そうでしょう。間違った文書です。必ず記憶すべきです。これがわかるリーダーがあまりいません。

□序論_絶対-神様の時刻表

みなさんは、これから献身するとき「他のことは関心ない」この言葉は違います。今、神様が何を願っておられるのか。それだけをしてください。それを「絶対」と言います。これをのがすから、3 団体に負けるのです。3 団体は教会のように騒ぎません。そっと静かにみな掌握してしまいます。それで何か、いくら優れていてもみな崩れることだから、みなさん、心配せずに、神様が何を願われるのかを握ってください。この質問を常にすべきです。そうすれば良いのです。すると、ここでみな出てきます。一生のことも質問すべきですが、瞬間、瞬間、いつも質問しなければなりません。

また、普通の人々を見れば、ほんとうに、とても大げさに雲をつかむように準備して話します。みなさん、そのような神学生になったり、そのような重職者になればどうなりますか。ところが、そのような人が多いのです。この時はみなさん、このようにぴったり、準備されなければなりません。ほとんど、みな自分の枠に入れて来るのですが、見ればそのように組んできます。あらゆることみな……。すると、もう他のところがみな必要ないと。それだけあれば良いと。そのような形で組んではいけません。

みなさんが、これから開拓すると言うとき、行ってみればタラッパンをする教会がそばにあるとします。する必要がありません。福音が伝えられていないところにまた、行くべきで、そうでしょう。ちょっと、余裕あるようにしてください。伝道をしたのに、この人がイエウオン教会の周囲に住んでいる。イエウオン教会に送らなければなりません。そうです。それでこそ、信仰生活がうまくいくのです。そのような器になるべきです。余裕あるように。必ず記憶しなければなりません。

ほとんどの人々がまた会えば、正しくすると言いながら、とてもまた、限界を置いてしまいますが、それも違います。

1. 24 (2022)

これを見たとき、みなさんに見えることが、これが (24) 見えます。これが 1 講です。今日の三講義を要約した単語です。これが (絶対)。すると、絶対のことだけして、相対的なことはしないのか。その話ではありません。常識であって。

2. 25 (2023)

この祝福(24)を味わうなら、必ずこの答え(25)がくるようになっているでしょう。

3. 永遠 (2024)

みなさんが、これからこの絶対という答えを味わう奥義が、三つ目のことがこれ(永遠)だということです。なぜそうでしょうか。

1) 霊的

私たちは霊的なことのために肉的なことを投資するのです。滅びる者は、肉的なことのために霊的なことをあきらめます。

2) 未来

私たちは未来のために今日を投資するのです。答えられない人々は、今日のために未来をのがします。そのような神学生になってはいけません。

3) 永遠

私たちは永遠のことのために臨時のことを投資するのです。答えられない人の特徴、臨時のこと見つめて、永遠のことは見られないのです。

RTSの学生たちが記憶すべき単語三つ、24、25、永遠。これ(24)は2022年の主題です。みなさんが知っている簡単な24ではありません。スーパーに付けてある24ではないということです。とても素晴らしいことが入っています。みなさんが、あらかじめ知らなければならないから。25は2023年度の主題です。これ(永遠)は2024年の主題です。さあ、この中(序論-絶対)に全部入っているでしょう。

神様の時刻表

この祝福を絶対にのがしてはいけません。神学生のときに、一番失敗しがちなのが、このことです。もう教会の働きを引き受ければ、とても過度に自分の枠の中でだけで。一つも実現しません。そのようにすれば。もちろん、全体を見るべきですが、私が必ずすべきことは何か、今。それをいつでも見なさいということです。重職者も同じです。いろいろな方が教会に行き、あきれたことを度々取り出すと、話はできなくても教役者は……、とても難しいです。

□本論_絶対- 24、25、00

それゆえ、私たちは本論が何かというと、常に神様の絶対的な24、25、永遠ということを見て、すべての準備をするということです。

1. 霊的器

ここに合う霊的器を準備しなさい。

2. 隠れた器

たくさん、やたら表に現わす必要もありません。隠れた器を準備しなさい。そして、表に現す、現わさない、そこに目的があるのではないでしょう。ある人を見れば、あまりにも自分を現わそうとしますね。ある人は、とてもまた、現わさないと、そうします。それはどちらも同じ種類です。そのような必要もないです。

3. 実際の器

私たちは霊的な器を準備して、隠れた器を準備して、実際の器を準備するのです。

いつも神様の計画、神様の絶対計画は何かを質問しなければなりません、ご存知でしょう。常に、一生、すべてのことに、神様の絶対計画が何か。神様はその人を願っておられます。

私も、この頃、仕事してみると、ちょっとこのように私たちの今神様の時刻表と流れを見てください。私たちが最初にした作業は、私たちの団体はこれから財政を透明にするでしょう。それで、今回、外部監査を終えた帳簿を見て、何をどうするか、それは昔の話です。見れば1分で全部見えます。そうでしょう。みなさんの更新がとてもできないのです。帳簿が必要ないです、今は。税務署で税務そのまますべて持っています。全く同じです。

また、みなさんが二番目によく聞き取れないこと。今、私たちが資料を、私は本を出したことはありません。私が講義をするから、書き留めた人々が、それを本にしたのです。すると、書き留めた人々の意見が入っています、そうでしょう。そのことが本当に良いこともあるのですが、正しくないことも多くて。こういうことを持って、是非を論じる人がインターネットです。たくさん上がってきています。それゆえ、私が二番目にしている作業が、本部中心に資料整理することです。みなさんが、いま、例えば、イ・サンベ牧師が、ある地域を福音化するのに、私たちの訓練を受けたことを持って講義することがあるということです。そうでしょう。すると自由に講義しながら何を明らかにしてすべきなのか。「出典:世界福音化伝道協会柳光洙牧師、メッセージ:イ・サンベ牧師」と書いておくべきです。この話をなぜするのかということ、釜山からソウルを経てきながら、すべての資料をするのですが、私が福音手紙を先週に整理をしました。見ると、何箇所も間違ったところがあります。私たちの歴史の前で次世代が見る時「ああ!本当に私たちの先輩たちは、本当に神様の前で本当に良くしたのだな」このようにならないければなりません。

私が今、なぜこれを語るのかということ、RTS のみなさんはとても重要です。今、昔、過去の実力が何か、それは重要ではありません。これから、どのようにするのが、重要です。そうでしょう。学閥をしばしば問う理由が、みなさんの中から良くないことが出てくるから、度々問うのですが、それがなければ問う必要もありません。そうでしょう。「あの人の背景は何か」度々問うのも、おかしなことをするから尋ねることでしょう。そのまま良くしているならば、そのようなことは尋ねません。必ずこのように(本論1番)なるべきです。そうすれば、みなさんは用いられます。神様の絶対計画を握って、靈的器を準備しなさい。表に現われることもありません。隠れた器を準備しなさい。そして、実際の器を準備するのです。それでこそ、3 団体を生かします。3 団体は私たちの戦いの対象ではありません。宣教対象です。ある面では、悪魔も私たちの戦いの対象ではありません。キリストが勝たれたので、私たちはキリストの光だけ放てば良いのです。

神学生だけこうしなければならないのでしょうか。それは違いますね。すべての人がみなそうしなければならないのですが、神学生、私たちの RTS は未来指導者であるから。そうしてしまえば、何か過去、学閥関係なく、神様の働きが起きます。長老や大人たちが、みなさんの年齢は若いので尊敬することはありません。しかし、その方がみなさんを見るとき「あ、神様のしもべだね!」このように感じるとき尊敬します。いくら高齢な長老でも、みなさんが神様のみことば成就の中にいれば尊敬します。尊敬されることが目的ではないのですが、蔑視されるのも目的ではないでしょう。準備すべきです。必ず記憶してください。今回、RTS は特に 1, 2, 3 講あって、明日の聖日礼拝では結論を出そうとしています。

1. 靈的器

1) RT 7(創 41:38)

Remnant 7 人は靈的器を先に準備しました。一つだけ例をあげます。創世紀 41 章 38 節で、未信者が見た器です。未信者が見たヨセフの器です。これを話しました、未信者が。「はあ... 私は神の霊がこのように宿っている者を見たことがない」これがみなさんが受ける祝福です。

2) RT 親

大人たちも記憶しなければなりません。Remnant の親たちを見てください。どれだけ靈的器が準備されたのでしょうか。ダビデを戦場にお手伝いに送ったのですが、しるしを持って来なさいと言いました。しるしを持って来なさいと言いました。そのことばの中には、とても大きなことが入っています。エッサイがその時刻表を分からないのではないでしょう。

3) RT 指導者

さあ、この Remnant 育てた指導者です。

みなさんが受ける祝福がこれです。それゆえ、このサムエルのような人物がダビデに伝達したこと、それを伝達しなければならないのです。そうすれば良いです。これが神様の絶対計画です。これは 24、25、永遠、この単語を私たちは作ることができないのですが、くるようになっています。

2. 隠れた器(福音化運動)

いよいよ隠れた器として、福音化運動に用いられるようになります。

1) 創 45:1-5

さあ、よく知っている内容ですね。総理になるのです。総理になったときに言ったことです。「神はいのちを救うために、あなたがたより先に、私を遣わして下さったのです。」みなさん、隠れた器ということは、見えない器ということにもなりますが、この Remnant 7 人を一度見てください。十分に兄たちに話せます。「自分」ということは全くなかったのです。「お兄さんが私を売ったのでなくて、神様が私を先に遣わされたのです」

2) 出 4:24

大きい使命をモーセに与えられた神様が、モーセを呼んで行こうとしたのではないですか。何の話でしょうか。神様は「モーセが必要だ」とおっしゃいました。そうしておいて「あなたはいなくてもかまわない」とおっしゃいます。そうでしょう。これを知らなければなりません。神様はみなさんを必要とされます。しかし、みなさんがいなくてもかまいません。常に記憶すべきです。そのとき、モーセが決断を下します。初めには、私が嘘をついたのではなく、自分の立場を話したのではないですか。

3) I サム 3:19

聖書をよく見てください。サムエルが持っていた隠れた器です。神様の御声を聞いた後に「主は、彼のことばを一つも地に落とされなかった」みなさんはどんな人でしょうか。神様のみことばに捕われた人。そうすれば良いです。それが隠れた器です。私の主張も必要ありません。神様のみことばに捕われた人。世の中にこのような人々がいないので、みなさんは用いられることができます。

4) I サム 16:13

いよいよなんでしょうか。隠れた器がさらに重要です。「主の霊が激しく下った」これを話すのです。これは、隠れた器です。誰にも与えることはできず、人が持っていくこともできません。この器です。

5) II 列 2:9-11

それでよく知っているように見られるのですが、そうではありません。「霊の二つの分け前が私のものとなりますように」前の単語が重要です。何と言いましたか。「あなたの、霊の二つの分け前が私のものとなりますように」正確に話せば「先生、あなたがしたその恵みを、私に与えてください」ということで、長子の分け前ですね。「ください」こう言いました。肉的なものは一つも要求しませんでした。これが RTS 学生たちが世界征服する器です。必ず記憶しなければなりません。

大変でも、みなさんが物質や利益になるところに視線を転じてはいけません。そして、みなさんは大きな器で行かなければならないので、そういうことをしてはいけません。どうしても、みなさんは学生の時でなくて、また、牧師がお金をたくさん儲ける職業ではありません。そうしてみると、難しいこともあります。また、いま一般信徒はよく分かりません。「何で牧師がお金が必要なのか」牧師にはとてもお金が必要です。目をとじて通うからそうであって、あまりにも助けるところが多いのです。私はこのように祈りました。「神様、お金のために私が働かできないということはだめですから、その程度だけくだされば良いです」そう言いました。今、私たちはお金がなくてできないことはありません。そうでしょう。私たちは何か、みなさんが行く所ごとに働きが起きれば、現場がみな生かされます、そうですね。

6) ダニ 1:8-9

さあ、見てください。よく知っていることです。知っているのですが、どのように流れを握らなければなりませんか。簡単に。神様が私をここに送られた絶対みこころが何かということです。その心を定めるのです。みなさんが教会に行ったら、また、どこかへ行ったら、苦しいことに会ったら、いつでも見つけ出さなければなりません。神様の絶対計画、それを握ればこの答え(24、25、永遠)はついてきます。

7) ペリ 3:1-21

特に、パウロを見てください。器がちょっと違います。どれだけ器が大きいのでしょうか。私たちがとても自慢するくらいのことを、とても恥ずかしいことだと話しました。そうでしょう。パウロが事実上、持っていたことはものすごいのです。そのために、キリストを悟れないので、恥ずかしくてちりあくたに思うと言いました。年とってから言ったことです。「したことはない」と言いました。そして「キリストの手に捕らえられた、それを捕らえに行く」と言いました。それも地のことではなく「上から呼ばれた報いのために」自分が持っていたローマ市民権ではなく「天国国籍が私たちのもの」と言いました。さらに重要な結論を出しました。「万物を服従させるその御名」イエス・キリストの御名によって。必ず記憶しなければなりません。これがみなさんが持つべき隠れた器です。これは目に見えないでしょう。

3. 実際の器

1) 使 11:19

このときから、今まさに出てくるでしょう。特に初代教会のときを見てください。患難のとき、教会ができるのです。なぜ私がこれを書いたかということ、よく知っている箇所ですが、聖書で使徒の働き以前、以降を分ける分岐点です。神様のみことばが初めて開かれる、宣教が開かれる時間です。それ以前には、みな無理やり行っていたのです。みなさんが備える実際の器。患難と困難と危機がきたときは、みなさんの時刻表であることを分かれば良いのです。

機会

そのときが最も良い機会だと思えば良いです。それゆえ、よく知っているのですが言うのです。

2) 使 16:6-10

また見てください。門が開かれないとき、門が閉じられたとき、このときがより良い時刻表です。

使 16:19-40

さあ、そのために監獄まで行きました。そのときが、みなさんはとてもあかしする証人の機会です。このように実際の器を準備しなさいということです。

3) 使 19:21

そして見てください。神様の絶対計画をずっと質問すると、このような答えが出てきます。ローマも見なければなりません。この話をわかった人は、みな答えを受けました。この話をわかった人がパウロを助けるのです。

使 23:11

大胆でありなさい。ローマでもあかししなければならない。

使 27:24

恐れてはなりません。カイザルの前に立たなければならない。これです。みなさんが備えるべき三つの器。霊的な器を備えなさい。肉的なことは必要ないということではなくて、それは世を救うことはできません。より重要なことは私ということ、必要ないのです。隠れた器です。いつでも絶対を準備すれば、実際の準備がしっかりされます。みなさんのゆえに、死にゆく人が生かされて、問題が解決される、このような答えが与えられるでしょう。

□結論

1. 永遠に残ること(たましい)

結論です。この福音運動を正しくしてしまえば、24、25 を越えて永遠に残ることになります。みなさんがすることがそうです。重職者と信徒のみなさんが教会でした働きの中で、人を生かすことは、全部、永遠に残ります。そうでしょう。救われたたましいが、これが冠なので、永遠に残るようになります。どれくらいでしょうか。私たちがしたことが、たいしたことではないのですが、永遠に残ることになります。

何か、事実上はラハブが知らなかったでしょう。一つは知っていました。「おお、このすごい国だな」分かったでし

よう。エジプトに勝ったから。そして「主なる神様がまことの神様だな。分かった。それゆえ、あの人々を助けなければならない」と考えたのでしょうか。そこまでは知っていたでしょう。「すると、私は助ける」これまで分かりました。その人がイスラエルの国まで行ってダビデのおばあさんになることは、だれも分かりませんでした。本人も知りませんでした。「何、つまらないこと、私が少ししたが……」このように考えることができます。違いますね。

2. 時刻表の中に

みなさんがいくらつまらないこととしても、神様が絶対的な、願われる時刻表の中にいるならば永遠なのです。これを見つけないさいということです。どれくらい機会でしょうか。Remnant 7 人と親を見れば、ぴったり、絶対その時刻表にぴったり、したのです。

3. その場所、その働き

そして为什么呢。その場所、その働き。何でしょうか。神様が絶対に必要とされる、永遠のことにあるその場所とその働き。

このようならば、私たちに本当に残った答えはどんなことでしょうか。それは明日の 1 部でメッセージします。RTS のみなさんが卒業する前に、契約をしっかりと握って、編集、設計、デザインしなければなりません。

祈り

祈ります。神様に感謝します。RTS 聖日をくださった神様に感謝します。理由を悟らせてくださり、絶対のことを悟らせてくださり、永遠のことを悟らせてください。その時刻表にいることを分かる大事な日になりますように。主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

直筆

